

たわわ

TAWAWA

地域で生きる障害者を支える会通信

発行 2008年6月30日

89号

NPO法人

「地域で生きる障害者を支える会」

住所：横浜市港北区下田町6-31-8

活動ホーム「しもだ」内

TEL 045-562-3600

FAX 045-562-5991

## 第6回写真展—障害者の自立への道—を終わって

# マンネリにならない活動を！



6月は、なぜかしつとりと落ち着きのある季節のように思います。

昨年の今頃は、シーシキンのピアノ・チャリティーコンサートが行なわれ、それから間もなく続いた大変な一年間など予想もできず、ほっとしていました。

やっと出来た写真集の表題は「いのち輝いて…」と皆で決めました。多くの人に支えられて暮す重度障害者たちの日々を伝え、日常の活動の中に見る“よい顔”を伝える事ができたかどうか... と思いつつも、一定の役割は果たしたような気がしていました。

いま、長かった一年が経って、いろいろな思いは残りますが、グループホームの危機も不十分ながら落ち着き、後はマンパワーの充実と、入院中のメンバーの回復を祈るばかり...。少し落ち着きを取り戻しつつあります。

\* \* \*

今年も、6月23日から6月28日までの6日間、例年のように大倉山のギャラリーで写真展を開催いたしました。何度も遠くから来てくださるかたもありましたし、初めての方、通りかかりの市民の方と様々な方にご覧頂き、当番の会員たちもすっかり慣れて丁寧に説明しておりました。

また、この写真展では、障害者やその家族たちと、普段あまり会えない人たちが、来て下さって旧交を温め、そこからまた自然に輪が広がるという役目もしています。一人だけの“あなたのお子さん”というよりは、もう少し広い“お子さんと同じ重度障害者たち”というほうが理解しやすいし、支援もしやすいのだということを感じています。

逆に当事者にとっても、社会に理解してもらおうとする活動が、孤立感を感じずに暮せる日々につながっているようです。自分たちのためにやっている活動といいつつも、それだけではなく活動の意義でもあります。

\* \* \*

今年の写真展には、いくつかの問題がありました。それは、まず写真を撮るのはアマチュアの自分ですので、怖い者知らずの熱意だけでやってきましたが、この強みが逆に弱点でもあります。前述のように別の忙しさや、体調の不良で、撮れなくなってしまうのです。

一時は開催を悩みましたが、何人かに「持っている宝を生かすべきだ」という忠告や励ましを頂き、“毎年全てを新しい写真で”と心がけてきた撮影者のこだわりは、ようやく捨てることにしました。

そして、別の視点で、古い写真も取り入れ、これからは いよいよ「重い障害者にとっての自立とは何か、それを困難にする要因は何か」に向かおうと思いました。今年は、そのほんの入り口です。

「いつまでも、理解を広げる活動が、写真展でよいのか」という思いは消えませんが、物言えぬ人たちが表現している事を伝えるには、別の方法がなかなか思いつきません。

写真と同時に当事者の声を伝える冊子「たわわ・増刊号」も作り配布していますが、マンネリ感があると、効果の面で疑問も出るでしょう。

\* \* \*

そこでこの秋には、私たちの他の活動も含め、活動の総点検を行ないたいとおもいます。総会は正会員と顧問会員を中心に行なわれていますが、これを拡大して議論をよびかけたいと思っております。早めに日程をお知らせしたいと思っております。

### 特定非営利活動法人 地域で生きる障害者を支える会

## 平成20年度 第一回総会の報告

去る6月30日、活動ホーム訓練室にて平成20年度第一回総会が開催されました。議案書に従い、下記の事項について議事が行なわれたことをご報告します。

司会、議事進行：鈴木仁市

記 録：高畑慶子

議事録署名人：阿部八重子

#### 議事

- 1) 平成19年度事業報告について ..... <承認>
  - a. グループホームの運営支援事業（運営委員会への参加、活動支援、人材の募集、運営費支援）
  - b. 障害者の地域生活支援（レスパイト支援・余暇支援）
  - c. 地域啓発、地域交流会等の企画実施（たわわの発行、写真展の開催、地域交流イベントの実施、チャリティーコンサートの実施等）
  - d. 相談、ピアカウンセリング事業
  - e. 定例学習会の実施
- 2) 平成19年度収支決算報告について..... <承認>  
会計監査報告
- 3) 平成20年度事業計画案について ..... <承認>
- 4) 平成20年度収支予算について ..... <承認>
- 5) 役員について（任期中につき継続、理事・大原日恵（代表）、鈴江美博、竹生真喜子、高島慶子、藤田壽子、山田きち、監査・古田節子）..... <承認>



## めがねの声

◇よくわからない心配が不安のもと...

この前、東北で大きな地震がありました。

17年前に、神戸で地震あった少し前に、外のグループ「みんなの会」の仲間と旅行に行きました。そのとき少しですが、神戸の障害者たちと交流をしたことを後でおもいだしていました。たまたま、私のボラさんが神戸の障害者たちの知り合いで、地震のときもお手伝いに行っていました。「友子さんとお母さんはよいときに旅行に行つて思い出ができてよかった」といっていました。

半年後に母達が神戸の施設の人を呼んで、地震のはなしを聞く会をしました。

\* \* \*

いつも思うのですが、テレビでは、弱者といっても子どもたちやお年寄りの様子しかできません。皆が大変なのだとは思いますが、施設や学校のほかにも、いろいろな人たちがいます。

予定と違う事があると固まってしまう人はどうしているのか。刻み食や特別な食事しか食べられない人はどうしているのか、おんぶできないような重い人はどうしたのかなど、知りたい事はたくさんあります。「どうしているか...」という不安をもっています。何を心配したらよいのかもよくわかりません。

こういうことを準備しなさいといっていますが、食べられるのか、水を飲めるのかという事は、今の私には、心配のほんの少しの部分です。

誰がどんな風だったのか 障害者はどうしているのか について 知りたいと思います。「何を どう心配すればよいのか」さえ判らないので、ただ漠然と不安になるのです。

\* \* \*

これからグループホームに火災通報装置をつける話などが会議に出ました。訓練もしています。地震のこともいろいろ考えていくのだと思いますが、漠然とした心配をせずに、毎日を楽しく暮らしたいですね。

大原 友子

**ご入会 ご継続 ありがとうございます**

[敬称略]

《会員》 福田 定子 花岡 満子

《賛助会員》

磯村 博子 金子瑠美子 清水 健志 花岡 元

渡辺 正恵 飯田 静子 福島喜美代 西條 みえ

《賛助会員団体》 パナホーム株式会社



(20年6月27現在)

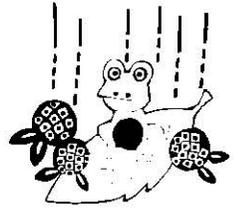
## 今月のよつばホーム

### よつばホーム

(♪雨、雨、降れ、降れ、母さんが～♪)

普段から室内で過ごすことの多いみんなですが、雨の日は同じく室内といっても、ちょっとだけ様子が違います。

「よく降るわねえ～」憂うつそうなつぶやき声が聞こえます。と思えば、別の方からは「はああ～」豪快なため息が飛び出します。とある部屋からは扉越しに懐かしの番組のビデオの音が・・・  
(闇に隠れて生きる～♪ 俺たち妖怪人間なのさっ♪)



梅雨の短い晴れ間に、散歩に出かけました。うっとりしていると思っていた雨ですが、緑道の草木には嬉しいものだったようです。「ほら、紫陽花が咲いているわ。まだ青いわよ。」「立葵(たちあおい)が力強く咲いてるねえ。」「きれいだねえ～」花も葉っぱもキラキラと光っていました。

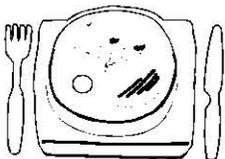
そして留守番していたある入居者の部屋からは扉越しに懐かしの番組のビデオの音が・・・(闇に隠れて生きる～♪ 俺たち妖怪人間なのさっ♪)

来月のたわわの頃には暑い暑い夏が始まっているでしょう。今はゆっくりと体力温存です。

### 第2よつばホーム

早いもので梅雨の時期の6月も過ぎようとしています。梅雨入りしても第2よつばホーム入居者の皆さんは元気いっぱい過ごしています。

みんなでティータイム後、それぞれ居室でゆっくりとテレビや音楽を聴いて過ごしたり、リビングでスタッフに笑顔振りまいたりと思いの時間の時間を過ごしています。



第2よつばホームでは毎週木曜日が『リクエストメニュー』の日です。みんな食べたい物を真剣に考えます。リクエストメニュー前日に職員やヘルパーさん達と料理の本を見ながらどれにしようか真剣に考えます。

どれを見ても美味しそうな物ばかり！これも美味しそうだけどこっちも美味しそうだなぁ～とか、横からコレが食べたいなど口をはさんでみたりと皆さん笑顔で考えています。

今週の友子さんのリクエストメニューは『赤飯』『水餃子』『チンゲン菜のクリーム煮』『お漬物』に決まりました。当日が楽しみ！

当日の夕食は皆さんその日の事を思いながら次は何をリクエストしようかと話しながら花を咲かせてリクエストメニューを笑顔で食べています。周りのスタッフもこの笑顔に癒されます。雨が多い時期ですがたっぷり栄養をとり皆の笑顔でこの梅雨の時期も乗り越えられそうです！入居者の皆さん笑顔いっぱい毎日楽しく過ごしています。